



Q 立柄橋付近におけるスケートボード行為への対応は

水谷幸乃 (文責)



A まずは現状の把握と警察と連携

立柄橋付近におけるスケートボード行為への対応について

近年、立柄橋付近において、スケートボードをする若者が多数見受けられます。この行為は、周辺住民や観光客の安全を脅かすだけでなく、景観を損ない、観光地としての価値を低下させる可能性も指摘されています。

質問 観光地として景観悪化する振興の妨げになることや地域の子どもが見ている中、マナー違反を放置することは教育的観点でも問題と考えるが今後の対策は。

答弁 警察と協議連携していく。



質問 愛好者との共存を確立しつつ、町独自で禁止区域の指定や条例の制定などできないか。

答弁 道路交通法に基づいて検討。看板設置などの方法もあるがまずは現状把握。

湯沢町社会福祉協議会の通所介護事業の地域密着型への移行と、介護人材確保に関する課題について

湯沢町社会福祉協議会が運営する通所介護事業が、令和7年12月より地域密着型へ移行し、訪問介護事業についても、土日閉所の体制へと変更された。町内の介護人材不足や事業運営体制の厳しさを背景としているものと推察するが、町民の介護サービス利用の機会や生活支援体制に影響が及ぶおそれもある。

質問 移行した経緯と町としての状況把握

答弁 介護人材不足等により定員数のご利用者が受け入れられないこと、また地域密着型に移行することにより経営状態の安定につながる。現在新規ご利用者は受け入れ中止の状況。入浴サービス



スの補助として、ケアハウスの入浴施設を使用しミニデイサービスを開始している。

質問 町の福祉サービスが崩壊しかけている。今後の具体的支援策は。

答弁 現在も運営補助金として約3,500万補助している。今後については社協と情報共有しながら検討していく。